

あけましておめでとうございます



皆様は今年一年の目標を立てられましたか？今年もより一層動物看護の技術を磨き、皆様のわんちゃん、ねこちゃんと楽しい生活を守るためのお手伝いをしていきたいと思ひます。

ご存知でしたか？食べさせちゃいけないもの

年末年始は、普段とは違ふ食事になるため、ついついワンちゃん、ネコちゃんに食べさせてはいけなひものを食べさせてしまふ事が多いです！それらを口にしてしまふと中毒を起こしてしまひ死に至ることがあるため、とても注意が必要になります。

意外！？ 食べさせちゃいけないもの…食べ物編

・ネギ類・にんにく

赤血球に反応する物質が含まれているため貧血などが起こる可能性があります。

症状) 血色素尿・元氣消失・嘔吐・頻脈・ふらつき・黄疸・下痢など

※玉ねぎは、ハンバーグ・コロッケ・サラダ・シチューなどいろんなところに入っているで注意が必要です。



・ブドウ類、レーズン

最近、中毒を起こすと発表された果物です。腎臓障害や重度の場合は

死に至ることもあります。レーズンパンや皮も同様です。

症状) 嘔吐・下痢・腹痛



・はちみつ

ボツリヌス菌(毒力が強い)が含まれることがあります。特に、子犬や子猫には食べさせないようになししょう。

症状) 筋肉や神経の麻痺・よだれ・反射の低下・巨大食道症

※ゴミ箱や拾ひ食ひには注意しなししょう。



・チョコレート、カカオ類

原料のカカオに含まれている成分が中毒を起こします。死に至ることもあります。

症状) 下痢・嘔吐・パンティング(口を開けてはあはあ言う)



・生の卵白

生の卵白はイヌの皮膚病や神経に疾患をもたらすことがあります。与える場合は加熱が必要です。

症状) 皮膚炎・食欲不振・唾液分泌・脱毛



身の回りの物編

・保冷材の中身(エチレングリコール)

ネギ中毒に似た症状を起こします。特に猫は注意が必要です。粧品や車の不凍液に含まれていることもあります。飲み込んだ後、代謝されると非常に強い毒性を表します。



・キシリトール入りの食品（ガムなど）

キシリトールによってインスリン濃度が急激に上昇したため、急激な低血糖になり、死に至る恐れがあります。

症状) 低血糖症状・肝障害



・カエル

食べさせることはないと思いますが、お散歩中などは注意しましょう。ブフォトキシンという毒を持っていることがあります。

症状) よだれ・頭を振って前足で口をめぐう動作・痙攣・呼吸困難



植物編

・観葉植物・草・球根

自分を守るために中毒物質を持っているものが多くあります。

ユリ、チューリップ、スイセン、シクラメン、イヌサフランなど球根には、中毒を起こす毒性物質が含まれています。

症状) 嘔吐・下痢・腹痛・よだれ・呼吸困難・痙攣・不整脈・ひきつけ



・アロエ

腎臓に障害を起こす可能性のある物質（バーバロイン）が含まれています。

症状) 嘔吐・下痢



ワンちゃん、ネコちゃんの口に来る場所には、置かない事が、一番の予防になります。注意しましょう！

万が一、食べてしまった場合は、すぐに来院して下さい。